

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,419	2.8	520	1.6	518	5.1	313	19.2
24年3月期第3四半期	4,299	3.3	512	59.5	493	60.7	262	23.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 316百万円 (21.4%) 24年3月期第3四半期 260百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	53.82	—
24年3月期第3四半期	45.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,427	4,975	59.0
24年3月期	8,700	4,746	54.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,975百万円 24年3月期 4,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	5.7	930	4.5	920	5.4	530	14.7	91.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	6,270,000 株	24年3月期	6,270,000 株
25年3月期3Q	446,024 株	24年3月期	444,752 株
25年3月期3Q	5,824,394 株	24年3月期3Q	5,827,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)においては、先行き不透明感を払拭しきれない米国、債務問題に小康を得たものの低迷の続く欧州、減速からようやくやや持ち直しに転じた中国をはじめとする新興国など、世界経済は最悪期こそ脱したものの依然停滞状態が続きました。

わが国経済は、世界経済後退や円高による輸出の減少、設備投資の弱含みや領土問題を巡る近隣諸国との関係悪化などもあり、緩やかな回復軌道から景気後退へと転じました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品に加え、LCRメータ ZM2375、ファンクションジェネレータ WF1947/WF1948、プログラマブル交流電源 EC750S/EC1000SA等の新製品を相次いで上市するとともに、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスして鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,419百万円(前年同期比2.8%増)、損益面では経常利益518百万円(前年同期比5.1%増)、四半期純利益313百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第3四半期連結累計期間における営業の分野別状況は、次の通りであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、LCRメータ ZM2375、ファンクションジェネレータ WF1947/WF1948を上市し、これら新製品および強み製品を中心に鋭意拡販に取り組んでおりますが、当期におきましては、LCRメータやインピーダンスアナライザが産業機器市場等において堅調に推移したものの、強み製品である周波数特性分析器やファンクションジェネレータ等が全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は758百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、プログラマブル交流電源EC750S/EC1000SA、待機電力試験システム TS8810を上市し、これら新製品および交流電源等を中心に鋭意拡販に取り組んでおりますが、当期におきましては、プログラマブル交流電源DPシリーズやECシリーズ、シミュレーション電源、バイポーラ電源等は堅調に推移しましたが、保護リレー試験器等は前期比落ち込み、全体としてはやや力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,795百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにしたカスタムメイドの機能デバイス製品が主で、電力、鉄道、医療機器関連から航空・宇宙に至るまで幅広い市場のニーズに対応すべく積極的に展開しておりますが、当期におきましては、電力、鉄道、航空・宇宙関連市場等において堅調に推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は706百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当期におきましては、系統連系関連装置や太陽光発電関連装置等が堅調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は855百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は304百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は棚卸資産が増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度と比較して272百万円減少し、8,427百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、501百万円減少し3,451百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、228百万円増加し4,975百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は緩やかな回復を辿ると見られるものの、米国、欧州を中心として不安材料は依然として拭いきれず、また、景気対策や積極金融緩和への期待感から円安・株高へと一気に進んだわが国経済も、政策効果の具体化には暫く時間を要することもあり、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション活動を強力で展開し、所期の業績の実現を目指してまいります。

なお、業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,386,208	2,423,878
受取手形及び売掛金	2,584,413	1,721,712
商品及び製品	340,904	646,600
仕掛品	426,604	637,397
原材料	476,129	485,478
その他	252,741	203,207
貸倒引当金	△42,608	△40,084
流動資産合計	6,424,392	6,078,191
固定資産		
有形固定資産		
土地	963,185	1,037,042
その他(純額)	674,528	682,016
有形固定資産合計	1,637,713	1,719,059
無形固定資産	156,298	143,615
投資その他の資産	481,731	486,560
固定資産合計	2,275,743	2,349,234
資産合計	8,700,135	8,427,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,768	650,483
短期借入金	184,400	14,400
未払法人税等	142,997	12,809
賞与引当金	216,880	66,529
役員賞与引当金	34,300	—
受注損失引当金	—	3,500
その他	940,634	932,181
流動負債合計	2,181,980	1,679,902
固定負債		
社債	840,000	660,000
長期借入金	538,800	728,000
退職給付引当金	121,486	107,897
長期未払金	109,155	114,050
その他	161,907	161,958
固定負債合計	1,771,349	1,771,905
負債合計	3,953,329	3,451,808

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	2,828,230	3,054,304
自己株式	△196,785	△197,427
株主資本合計	4,718,945	4,944,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,860	31,239
その他の包括利益累計額合計	27,860	31,239
純資産合計	4,746,806	4,975,617
負債純資産合計	8,700,135	8,427,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,299,535	4,419,690
売上原価	2,564,968	2,612,315
売上総利益	1,734,566	1,807,375
販売費及び一般管理費	1,222,282	1,287,036
営業利益	512,284	520,338
営業外収益		
受取利息	451	692
受取配当金	4,310	13,771
保険解約返戻金	—	13,089
償却債権取立益	4,551	—
その他	9,274	8,818
営業外収益合計	18,589	36,372
営業外費用		
支払利息	26,301	24,889
売上割引	5,919	7,048
その他	5,040	5,881
営業外費用合計	37,260	37,819
経常利益	493,613	518,892
特別利益		
固定資産売却益	648	2
特別利益合計	648	2
特別損失		
固定資産除却損	145	1
投資有価証券評価損	—	877
特別損失合計	145	879
税金等調整前四半期純利益	494,116	518,015
法人税、住民税及び事業税	162,655	116,810
法人税等調整額	68,480	87,752
法人税等合計	231,135	204,562
四半期純利益	262,981	313,453

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
四半期純利益	262,981	313,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,045	3,378
その他の包括利益合計	△2,045	3,378
四半期包括利益	260,935	316,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,935	316,831
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。